



せい らん
青 藍

瀬戸内町立篠川小中学校
令和2年9月1日発行

校訓 ～明るく 正しく たくましく～
～ 自律和親 ～

9月号



さあ2学期，君たちの出番，輝く時だ！

校長 中原 誠

処暑が過ぎ，台風8号が暑さを和らげ，一時涼を運んで来てくれたように感じましたが，残暑はまだまだ続くようです。これから白露，徐々に朝夕の風，気温に変化があるのでしょうか。

保護者・地域の皆様方，今日も一日暑い中，お仕事お疲れ様でした。ご苦労様です。

この夏は猛暑，とにかく暑かった！一時，帰省していましたが，車で外温を見る度に35℃～38℃。国内では浜松で41.1℃(国内最高タイ)，県内でも38.1℃(肝付町)で県内最高更新をしたとか。普段の人間の体温より高いことになります。帰島で奄美空港に降りた際，鹿児島本土より南の奄美の方が気温が低いのを体感しました。

さて，長い夏休みが終わり，閑静な学校に子どもたちの元気な声が戻って来ました。まずは今夏，事故やトラブル等がなかったことが何よりです。今年はコロナ禍で帰省等行き来が制限され，例年の夏とは違う「夏」を過ごされたのではないのでしょうか。子ども達も日焼けして，一段とたくましくなったように思えます。いよいよ2学期が始まりました。ラジオ体操後，自宅で自由な時間を過ごした子どもたちにとって，学校が始まった最初の1週間はきつと思います。「時間割」で動く「学校モード」に慣れず，だるさを感じるものです。「学校モード」に戻すには，早めの就寝等帰宅後の過ごし方が大きく左右します。これから運動会に向けての準備・練習も始まります。暑い中，校庭での練習は疲れも残ります。心も体も元気で，万全な状態で登校できるようご家庭でも見届けをお願いします。また，2学期は学校行事の多い学期，子ども達の出番，輝く場がたくさんあります。行事を通し，学年相応の与えられた役割を果たすことで，自己への責任感や自主性の向上，達成感につながり，また称賛されることで自信につながり，更には次への意欲喚起となります。行事を成功させるには苦しいことや難儀も体験しますが，その課題解決に向け，対策を練り努力し続けることが自己の成長であり，本来持っている自分の可能性を開花させることになります。個の輝きが14個揃えば，篠川校全体の集団の輝きになります。それが小中併設のよさであり，また後輩に伝統として引き継がれ，それが将来，篠川の地域性として生かされるのだと思います。

先日は泰江組の方にはアカギの伐採とグランド整地，保護者・校区の方々には学校環境整備作業をしていただきました。毎年，参加人数の多さに驚き，地域性を感じています。それぞれが自分の持ち場かのように作業をする姿に感心いたしました。心から，感謝，お礼を申し上げます。綺麗になった校庭で運動会の練習に精一杯励み，成長した姿をお見せすることでお礼をお伝えしたいと思います。

保護者・地域の皆様，2学期も篠川校へのご支援，子どもたちへの激励を宜しく申し上げます。